

報道関係者各位

第2回川端康成青春文学賞の入賞作品が決定 大賞に輝いたのは 桂 文弱さんの「ペイデイの前の日に」

茨木市が主催する第2回川端康成青春文学賞の最終選考会がこのほど開催され、応募総数931篇の中から、桂 文弱さん（57才・福井県）の「ペイデイの前の日に」が頂点である大賞に輝きました。

「ペイデイの前の日に」は、情勢が不安定な南の島国で暮らす主人公の日々を、マーケットの人々とのやりとりや買い物の様子を中心に描いた作品。芥川賞作家の羽田圭介さん、津村記久子さん、脚本家の大野裕之さんが選考委員を務めた最終選考会では「世界をしっかりと観察し、肯定的に見ようとする明るさを感じた」「高い技術もあり、先がどうなるのか、なにが起こるのかわからず、小説として面白かった」など、高い評価を得ました。

そのほか、優秀賞1篇、佳作1篇、奨励賞1篇がそれぞれ選ばれ、大賞50万円、優秀賞20万円、佳作10万円、奨励賞5万円の賞金が授与されます。

表彰式は12月24日（日）に茨木市文化・子育て複合施設 おにクル（令和5年11月26日開館）で開催し、大賞作品は榊中央公論新社の月刊『中央公論』12月号（11月10日発売）に掲載されます。

■入賞作品 ※敬称略、（ ）は年齢

- | | | | | |
|------|---------------|---------|-------|-----|
| ・大賞 | 「ペイデイの前の日に」 | 桂 文弱 | (57) | 福井県 |
| ・優秀賞 | 「時を数える」 | 小田島 比呂 | (44) | 東京都 |
| ・佳作 | 「すべてパステルになる」 | わだ としひこ | (59) | 大阪府 |
| ・奨励賞 | 「オハイオ・グラフィティ」 | 雪乃 | (非公開) | 千葉県 |

■表彰式 ※ぜひ取材をご検討ください

- ・日時 令和5年12月24日（日）、午後
- ・会場 茨木市文化・子育て複合施設 おにクル
- ・備考 一般公開(予定) 受賞者及び選考委員出席予定

■【参考】第2回川端康成青春文学賞について

作品は日本語で書かれたオリジナルの未発表小説（ショートストーリー）とし、恋愛、ミステリー、ホラー、SF など、ジャンルは不問。川端康成が幼少期から青年期を本市で過ごしたことにちなみ、みずみずしい感性で青春を描いた物語を期待。



【本件に関する問合せ先】

市民文化部文化振興課長

電話：072-620-1810